

# 【報告】令和元年度災害廃棄物対策東北ブロック協議会活動について

## 【協議会について】

下記の通り、計1回開催した。※第2回協議会は、令和2年3月9日（月）開催予定だったが、新型コロナウイルス拡大の観点から、開催を中止した。

○第1回 令和元年10月11日（金）

議 事

(1) 審議案件

① 協議会設置要綱改正について

(2) 報告案件

① 昨年度協議会活動報告について

② 今年度協議会活動計画について

③ 環境省災害廃棄物対策室における検討について



## 【人材育成事業について】

下記の概要で、計4回実施した。各県の概要及び参加者人数は下記の通りである。当初は、ワークショップ等の人材育成事業を各県2回ずつ合計12回の実施及び初任者研修を岩手県、山形県、福島県で各県1回ずつ合計3回実施する予定であったが、令和元年東日本台風（令和元年台風19号）の影響により実施を見送った。

県	日時	場所	参加者人数
岩手県	2020年2月4日（火） 10:00-12:00	盛岡市内	47人
秋田県	2020年2月7日（金） 11:00-16:00	秋田市内	23人
青森県	2020年2月13日（木） 13:00-16:00	青森市内	31人
山形県	2020年2月18日（火） 10:30-16:00	山形市内	15人
宮城県	※令和元年東日本台風（令和元年台風19号）の影響により開催中止		
福島県	※令和元年東日本台風（令和元年台風19号）の影響により開催中止		

県	内容	狙い
岩手県	<p>○市町村における災害廃棄物処理計画策定の経験を有する自治体職員による講演（相模原市）</p> <p>○災害廃棄物処理に関する知見を有する有識者による講演</p> <p><u>国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター</u> 客員研究員 松本 実 様</p>	岩手県内の基礎自治体の災害廃棄物処理計画策定率の向上を図る。
秋田県	<p>○災害廃棄物処理の経験有する自治体職員による講演（大仙市）</p> <p>○多様な関係機関と連携し協定を結び、有事に対応するスキーム構築を図っている自治体職員による講演（大館市）</p> <p>○災害廃棄物処理に関する知見を有する有識者による講演</p> <p><u>国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター</u> 客員研究員 阿部 勝彦 様</p> <p>◎災害廃棄物処理計画の実行性を高めるワークショップ（JESC）</p>	秋田県内の基礎自治体の災害廃棄物処理計画の実効性を高めるとともに、災害時の自治体職員の対応力向上を図る。
青森県	<p>○近年の大規模災害を踏まえた施策についての講義（JESC）</p> <p>○避難所での衛生対策についての講義（JESC）</p> <p>◎災害時の自治体職員の対応力向上のためワークショップ・図上演習（JESC）</p>	災害時における青森県内の基礎自治体職員の事案適応力の向上及び基礎自治体の災害廃棄物処理計画策定率の向上を図る。
山形県	<p>○自治体と連携して災害廃棄物処理にあたった民間事業者による講演</p> <p><u>小型家電リサイクル認定事業者協会 会長</u> 金城 正信 様（金城産業株式会社 代表取締役）</p> <p>○近年の大規模災害を踏まえた施策についての講義（JESC）</p> <p>◎災害時の自治体職員の対応力向上のためワークショップ・図上演習（JESC）</p>	災害時における山形県内の基礎自治体職員の事案適応力の向上及び基礎自治体の災害廃棄物処理計画策定率の向上を図る。

各県での実施風景

岩手県



秋田県



青森県



山形県

